



THE AUSTRALIAN  
*Feldenkrais*  
*Guild*  
INCORPORATED

ABN No. 19 518 898 438

“To serve the student, facilitate the teacher and foster the Feldenkrais Method.”

## フェルデンクライス・メソッドの公認アシスタントトレーナーになるための手順

この文書を熟読して、申請内容がすべての要件を網羅し、それぞれの要件が満たされるようにして下さい。不足部分のない申請書を提出することで、豪州トレーニング認定委員会 (AusTAB) による処理続きを効率的、かつ迅速に進めることができます。

### A: 申請資格

#### 下記の要件を満たす必要があります

1. TAB(トレーニング認定委員会)公認のフェルデンクライス・プロフェッショナルトレーニング・プログラムを修了している。
2. FI(機能の統合)とATM(動きを通しての気付き)それぞれについて、トレーニング修了後に少なくとも5年間の実践経験を有する。
3. フェルデンクライス・ギルド又は国際フェルデンクライス連盟(IFF)の正会員として認められている専門職協会の会員である。
4. トレーニング修了後、フェルデンクライス・メソッドのアドバンストレーニングに年間平均して20時間出席している。
5. 下記の受講を修了している。
  - 5.1 トレーナーによる5回以上のFIレッスン。
  - 5.2 上記に加え、アシスタントトレーナー又は経験を重ねたフェルデンクライス・プラクティショナー(10年間に渡りフルタイムの開業経験を有する者)による10回以上のFIレッスン。
  - 5.3 上記に加え、他のフェルデンクライス・プラクティショナー(開業者)からさらに15回以上のFIレッスン。

AusTAB は、開業者がフェルデンクライス・メソッドを様々なやり方で実践していることに加え、一部の開業者にとってはトレーニング・プログラムへの参加や他の開業者との接触が距離的に難しいことを認めており、これを尊重しています。従って、下記の6, 7, 8は推奨されてはいるものの、要件を満たす上で多少配慮する場合があります。

6. 5年以上に渡り、ATMクラス指導の経験と時間を十分に有している。十分な経験とは下記の通り。
  - 6.1 1年の内、6カ月間に渡り ATM クラスを毎週2～3クラス行っている。且つ／又は、
  - 6.2 年間60～70時間の ATM 指導を行っており、これには下記を含むこと。
    - ATMの個人指導
    - 2～3回のワークショップ
    - プレゼンテーション
7. 5年以上に渡り、毎年600回のFIIレッスンを行っている。申請書には、各年のFIIレッスンの回数を示した表を含めること(付録2参照)。
8. 申請者本人が実施していないフェルデンクライス・トレーニングプログラムに出席したことがあること。この場合、出来ればプログラム・プラクティショナー又はトレーニング・プログラムの一環としてFIIレッスンを行う開業者として参加した経験を有すること。

## B: 申請書の提出

### 申請書の記入について

申請書は、1通の完成した文書として、各ページにページ番号を振り、目次を付けて提出すること。なお、申請書類はすべて英語で記入して下さい。

定量的要件がある場合は、表又は箇条書きにして提出すること。

### 申請書には次の点を下記の順序で示すこと

- a) Aの1～8項に対する回答を、下記を含めて示す
- 職歴を含む履歴書(手書き不可)
  - 実践しているフェルデンクライス・メソッドについての詳細な説明。1年当たりのATMクラスやFIレッスン、ワークショップの数(Aの6と7項参照)に加え、下記を提供すること。
    - 各年に行ったプレゼンテーションや講演、地元メディアへの寄稿などの説明。
    - 参加者の年齢層や種類、及び申請者本人が直面した問題点などの論考。
    - 申請者が別の職業を続けている場合、又はフェルデンクライス・メソッドに別のメソッドを取り入れている場合は、こうしたことがフェルデンクライス・メソッドを実践する上でどのように影響しているのか、詳細に説明すること。
  - 個人指導について、少なくとも3件のケーススタディ(各ケーススタディは2ページ以上であること)を示すこと。各ケーススタディは、一定期間に渡る一連のレッスンを扱うこと。フェルデンクライス・メソッドを実践する上で、どのような思考プロセスを経たのか記述すること。本文書に含まれている、ケーススタディの書き方を参照して下さい(付録1)。
  - グループに対して行ったプレゼンテーションの説明。申請者本人のコミュニケーション能力や学習体験を創り出す能力について記述すること(1件以上のプレゼンテーションについて、1ページ以上記入すること)。

- 受講したFIIレッスンから学んだ事柄の記述(Aの5項参照)。複数のFIIレッスンに対する考察として提出しても良い。
- その他のトレーニングに参加した際の申請者自身の学習体験の説明(Aの8項参照)。
- ご自身を指導者としてどのようにとらえているのか、又、なぜアシスタントトレーナーになりたいのか述べること。
- 開業後経験年数を重ねるにつれて、フェルデンクライス・メソッドに対する考え方や知識、手法、ご自身の人間としての成長や進化がどのように進められてきたのか、自らの感情や心の動きを含めて記述すること。考え方や実践面で直面する問題点に触れ、その説明と実際に行っている対策、又は今後取ろうと考えている対策について記述すること。

b) 追加項目

- ご本人の広告のサンプル。
- 使用しているすべての免許(資格)に関する文書。
- 最近撮影したご本人の写真。
- 推薦状。ご本人の仕事ぶりを知っているトレーナーから2通、又、その他の人でご本人の指導を体験したことのある方から2~3通提供して下さい。推薦状は、生徒やアシスタントトレーナー、同業者など、様々な方に書いて頂いて結構です。これらの推薦状は、フェルデンクライス・メソッドの指導者としてのご本人の技能に触れていること。

c) 申請費用

現在の申請費用については AusTAB にお問い合わせ下さい。申請費用は申請時に支払うこと。申請が認められなかった場合、申請費用の返金はありません。再度申請を行った場合、申請費用は半額となります。

提出された情報は、申請者本人のフェルデンクライス・メソッドに対する学びと経験を十分に示す必要がある点をご留意下さい。これらの要件に対し、追加情報を求められる場合もあります。この場合、申請書の処理時間は延びます。ご質問がある場合は、AusTAB の現会長に以下のメールアドレス宛てでお問い合わせ下さい。

[austab@feldenkrais.org.au](mailto:austab@feldenkrais.org.au)

## 付録1

### アシスタントトレーナー申請用のケーススタディ作成法

TAB は、ケーススタディの提示に当たり創造性と個性を示すことを推奨していますが、下記のガイドラインに従うことで評価がし易くなります。われわれは以下の点に関心があります。

#### 思考プロセス

- 行動に至るまでの意思決定プロセス。
- 必要に応じてその決定を変更する際の思考プロセス。
- レッスンの前、途中、後でどういった点に注意していたのか。
- 一連のレッスンについて、上記の思考プロセスの例を1例以上。

#### 機能的な方策

- 特定の手技の経過について。「背骨に沿って触れたら彼らは楽になった」というような説明以上のものを示すこと。
- 申請者本人が何を感じ、その情報によりどのような経緯を経て別の何かを探求するに至ったのか説明すること。

#### 学び

- 特定のセッションで、(生徒ではなく)申請者本人が何をどういう風に学んだのか。
- 少なくとも1つ、成功しなかった例を入れ、このレッスン又は一連のレッスンにどのように対処したか述べること。

## 付録2

下記に、各年毎の ATM(動きを通しての気付き)クラスと FI(機能の統合)レッスンの回数を示した表の例を2つ示します。

### 例1

年	ATM	FI(回)
2005	週単位のクラス 140 回 ワークショップ 100 回	600
2006	週単位のクラス 140 回 ワークショップ 18 回	720
2007	週単位のクラス 130 回 ワークショップ 15 回	578
2008	週単位のクラス 130 回 一般向けワークショップ 40 回 開業者向けワークショップ 4 回	500
2009	週単位のクラス 160 回 一般向けワークショップ 15 回	620

### 又は

### 例2

年	ATM(動きを通しての気付き)クラス	FI(機能の統合)レッスン(回)
2005	週単位のクラス 65 回	480
2006	週単位のクラス 80 回	520
2007	週単位のクラス 80 回	590
2008	週単位のクラス 50 回	575
2009	週単位のクラス 50 回	650
2010	週単位のクラス 60 回	720